

片瀬のぞみだより

宗教法人日本基督教団片瀬教会付属

片瀬のぞみ幼稚園

2023年5月号

家庭通信 2023 No.6



「主よ、お話してください。僕は聞いております。」

サムエル記上 3章9節

進級・入園されて早1ヶ月を迎えようとしております。幼稚園での新しい生活に慣れてきた子ども、まだまだの子、様々であって良いのです。顔かたちが違うように個性も発達段階もそれぞれ違って良いのです。

さて5月の聖書は旧約聖書のサムエル記上3章です。母ハンナは長い間不妊で子どもが与えられませんでした。ハンナは祭司エリのいる神殿で一心不乱に神様に子どもが与えられるように祈りました。祭司エリに子どもが与えられればその子を一生主におささげすることを約束しました。

やがてハンナは男の子を産み、その子にサムエル(その名は神)と名付けました。そして約束どおり少年サムエルは下働きとして祭司エリに仕えました。祭司エリは高齢になり目がかすみ見えなくなっていました。サムエルはエリ先生の身の回りの世話をしていました。

そんなある夜サムエルが寝ていると「サムエル、サムエル」と呼ぶ声が聞こえました。サムエルはエリ先生がお呼びだと思い、エリ先生のところに飛んでいきました。しかしエリ先生は「呼んでいない。帰って寝なさい」とサムエルに言いました。またしばらくすると同様に「サムエル、サムエル」と呼ぶ声が聞こえました。サムエルはエリ先生がお呼びだと思い、再びエリ先生のところに飛んでいきました。しかしエリ先生は「呼んでいない。帰って寝なさい」とサムエルに言いました。

三度目も同じように「サムエル、サムエル」と呼ぶ声が聞こえました。サムエルはエリ先生がお呼びだと思い、エリ先生のところに飛んでいきました。しかしエリ先生は主がお呼びなのだと思悟りサムエルに「戻って寝なさい。もしまた呼びかけられたら、『主よ、お話してください。僕は聞いております』と言いなさい」と命じました。

主が同じようにサムエルを呼んだのでサムエルは「主よ、お話してください。僕は聞いております」と答えたのです。

お祈りとはわたしたちの側からの願望、願い、希望、期待であると理解されますが確かにそうした部分も含まれていますが、それだけではないのです。お祈りは神様からの語りかけを聞くことなのです。そのために耳、心を開いて素直に聞き入れることが肝心です。

子どもたちが祈る姿の中に『主よ。お話してください。僕は聞いております』と言う姿勢・ポーズを見ることが出来ます。

牧師 西田直樹